

大規模データを用いた応用マイクロ実証分析

宮川 大介 教授

1. 担当教員の専門分野(研究領域)・現在の研究テーマ

マイクロデータを用いた実証分析（特に、企業ダイナミクス、取引ネットワーク、金融仲介、金融市場）

2. 指導方針

当研究指導では、企業、金融機関、個人などの単位で計測されたデータ（所謂マイクロデータ）を用いた応用マイクロ実証分析の実施と修士論文の執筆を目的とした指導を行う。一年次では、現代的な実証分析で用いられる主要な計量経済学的手法について受講生の習熟度を踏まえた学習指導を行うと共に、各人の関心に基づいたリサーチクエスチョン設定のための文献サーベイとデータの収集に取り組む。二年次では、一年次での学びを踏まえた修士論文プロジェクトを継続する。

3. 学生に対する要望・その他

学部上級レベルのマイクロ経済学及び計量経済学の知識を有していることが望ましい。また、STATAやRなどのパッケージを用いた実証分析の経験がある学生を歓迎する。各自の学術研究の基礎となる先行研究の多くは英文学術誌に掲載されているため、英語での学習を厭わない学生を歓迎する。